

# 2009年度 東山梨教育協議会研究の概要

研究推進委員長 中村 英彦

## I はじめに

東山梨教育協議会は、東山梨地域全体の教育振興を願って、1964年(昭和39年)に校長会・教頭会・教連の三者が、県教委、各地教委の協力により設立され、45年が経過しようとしている。これまでの活動の中で私たちは「平和を守り、真実を貫く民主教育の確立」のスローガンのもと、平和で民主的な社会を作るための教育研究・実践が重要であることを確認し、とりくんできた。また、管理職、教諭、専門職員が協同して組織研究を進め、東山梨地域の学校教育の向上、教職員個人の質的な向上、教職員相互の強固なネットワークの構築をはかり、今に至っている。

しかし、最近の、子どもたち・学校教育を取りまく環境は多くの課題が山積している。2006年に導入された「全県一学区」での高校入試制度では、前期試験の多くの不合格者がでることなどの多くの問題をかかえている。また、実施3年目となる全国学力調査では、子どもたちへ過度の精神的、肉体的負担を与え教職員のとまどいのみならず保護者の不安をも助長する結果となった。そして、昨年度、ゆとり教育路線を転換した新しい学習指導要領が公示され、移行期を迎えたことにより、学校現場では、授業時数の増加、学習内容に対する対応をしていかなければならない状況にある。

このような中であって、私たちは、今までもそうであったように、時代の変遷に流されるのではなく、その流れに能動的且つ柔軟に対応した研究活動が展開できるよう、教育の不易と流行をしっかりと捉え、子どもたちを中心に据えた深みのある教育研究活動を行っていくことが大切であると考え。そして、子どもたちにとって本当に大切なものは何かを考え、どの子にも楽しくわかる授業実践・教育実践を工夫するとりくみを進めていきたい。学習指導要領も改訂され、変革の時期にさしかかっている今日、世の中が学校教育に対して目を向けている大きなチャンスとして捉え、学校教育が真に子どもたちや社会のためになるよう授業実践・教育実践を工夫するとりくみを進めていこうと考える。

## II 研究の推進について

### 1 研究の目標

基本目標 「平和を守り真実を貫く民主教育の確立」

「国民の教育権の確立」

統一テーマ 「人間性豊かな子どもの育成とその学習を保障する教育活動の探究」

### 2 研究推進の基本的方針

- (1) 教協45年目の歴史的な重みや意義を重視し、東山梨の抱える今日的な教育課題解決のための研究を推進する。
- (2) 教育課程(カリキュラム)の自主創造的な編成を強化推進する。
- (3) 各学校の校内研究と教協研究との有機的結び付きとその充実を図る。
- (4) 保護者・地域住民との連携を強化する。
- (5) 組織研究の意義を理解し充実発展させるために、積極的な参加意識の高揚と組織的参加体制の確立を図る。
- (6) 平和・人権・環境教育を積極的に推進し、生命の尊さや平和の大切さの意識高揚を図る。

### 3 研究の組織づくり

研究の基底は校内研究にあるとの認識に立ち、課題の本質に迫り、解決の方法・内容を考えたり、専門的力量を高める教育研究部会と、同じ地域に勤めるものが課題を共有し、連携をはかりながらその解決策を探るブロック交流研究会、さらに特別委員会を設け教協研究を推進した。以下、具体的に掲げる。

#### (1) 教育研究部会

共通テーマ

「人間性豊かな子どもの育成と教科教育課程の自主創造的な編成をめざし、教育の本質を実践的に追究する。」

	部会名	部長	学校名	テーマ
1	日本語教育 小学校	八巻恵子	三富小	豊かな表現力の育成 －伝えあう力を高める指導の研究－
	日本語教育 中学校	武井善史	山梨南中	豊かな表現力の育成 －伝えあう力を高める指導の研究－
2	外国語教育	三枝洋介	山梨南中	基礎学力をつけるための指導工夫
3	社会科教育 小学校	中村賢司	塩山北小	科学的社会認識を育てる授業研究
	社会科教育 中学校	宮下智英	山梨南中	科学的社会認識を育てる授業研究 ～身近な資料を用いた授業研究～
4	算数・ 数学科教育	町田信次	大藤小	子どもとつくる楽しい授業の創造
	算数 数学	村田勝一	山梨北中	わかる授業の工夫と授業実践 －基礎学力の定着と考える力の育成－
5	理科教育 小学校	武井利津子	塩山南小	わかる理科授業の創造 ～楽しく学び 自然を豊かにとらえる理科授業をどのように進めるか～
	理科教育 中学校	井田正則	勝沼中	わかる理科授業の創造 ～新学習指導要領に基づくカリキュラムの研究～
6	音楽科教育	小林由紀子	奥野田小	音楽大好き！ ～音楽のよさや美しさを感じたり表現したりしよう～
7	美術・図工科教育	広瀬きよ美	加納岩小	一人一人の力を引き出す題材と支援のあり方
8	技術科教育	酒井幸政	松里中	ものづくりを通して生きる力を育てる指導研究 ～生物 育成に関する題材の工夫
9	家庭科教育	鈴木美奈子	勝沼中	感じとり体験して生きる力が育つ授業づくり
10	保健体育科教育 (小学校)	須藤将行	加納岩小	教材の本質をふまえた体育指導のあり方 ～体づくり運動を通して～ 3年次
11	保健体育科教育 (中学校)	三枝まり子	勝沼中	体育分野における授業の効果的な指導法 －指導形態や場の工夫－
12	保健教育	山岸元子	井尻小	①心身ともに健康な生活を送る子どもをどう育てるか ～骨の健康を考えることから～ ②心身ともに健康な生活を送る子どもをどう育てるか ～健康な生活習慣へのとりくみ～

13	生活科教育	小幡香織	山梨小	子どもが生き生きと	生活科
14	自治的諸活動	植原恵子	塩山南小	一人ひとりの自立をめざした学級づくり	
15	生活指導	古屋真吾	山梨南中	すべての子どもへの心理的、教育的援助のあり方	
16	障害児教育	相澤京子	日下部小	一人ひとりの実態をふまえた支援のあり方 ～自立をふまえて(どの子も共に生き共に育つ)～	
17	福祉教育	新藤 徹	牧丘一小	小学校における福祉教育のあり方をさぐる	
18	食教育	小林智子	大藤小	食教育を考える ～子どもたちのより良い食習慣づくり～	
19	平和・人権教育と国際連帯	岩下 城	牧丘一小	平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして	
20	環境教育	早川博江	加納岩小	「自然との共生」をめざした「環境教育」のあり方 ～身近な環境や自然に対し主体的に関わることのできる子どもの育成～	
21	情報社会と教育・文化活動	山田勝博	三富小	情報活用能力を高める研究	
22	進路教育	土屋憲一	山梨北中	一人ひとりにあった生きる力を着けるためのキャリア教育はどうあるべきか ～小・中における授業実践を通して～	
23	保護者・地域民との連携	加々美教子	後屋敷小	開かれた学校づくりをめざして	
24	教育条件整備	網野妙子	塩山北中	豊かな教育を子どもたちに	
25	カリキュラムづくりと総合学習	鈴木英仁	奥野田小	豊かで創造的なゆとりある教育課程の編成 ～総合学習の可能性を今、社会へ発信しよう～	
26	教育評価	清水利子	八幡小	生きる力を育む評価のあり方	

## (2) ブロック交流研究部会

### 共通テーマ

「地域が抱える教育課題を共有し・解決に向けた交流を行い、同一地域の小中連携や小中の系統的な教育のあり方を追究する。」

・内容について

ブロック名	ブロック長	ブロックテーマ
山梨支会	山梨北ブロック 武井 茂 (八幡小)	○小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす
	山梨南、ブロック 古屋美知子 (日川小)	○望ましい小・中連携のあり方について
	笛川ブロック 山本ふみ子 (牧丘二小)	○小・中学校の連携を深めるとともに、地域の様子や子どもたちの実態を知り子どもたちの指導に生かしていこう
甲州支会	塩山ブロック 本宮 知子 (塩山南小)	○小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、連携して塩山中学区の子どもたちを育てていこう
	塩山北ブロック 竹川由美子 (玉宮小)	○小中の連携をはかり、塩山北中学区の子どもたちを育てていこう
支会	松里ブロック 遠藤 建生 (松里小)	○同じ地域に学ぶ子どもたちの 教育のために小・中・地域の交流と連携を深めよう
	勝沼ブロック 網野 勝朗 (勝沼中)	○小中学校の連携をはかり、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育のあり方を追求する
	大和ブロック 澤登 正仁 (大和中)	○小学校・中学校の連携の強化と、授業参観および意見交換を通じた系統な教育のあり方の追求

(3) 特別委員会

ア 教育環境研究特別委員会

(委員長 武川 富喜雄 委員…校長会・教頭会・教連・事務職)

イ 児童生徒連絡協議会

(会 長 勝沼中学校生徒会会長 渡辺健一 顧問教員 三枝 敏明)

4 部会運営

本年度は、教育研究部会26部会、ブロック交流研究会8部会の成立をみた。教育研究部会は年間10回、ブロック交流研究会は年間3回設定し研究活動を行った。年間計画等、きちんとした見通しの上にならざる研究活動を更に推進していくことが重要である。

5 研究日と研究集会

毎週水曜日を研究日とし、郡教協研究日以外は校内研究にあてるが、この確保の努力が不十分の面もある。厳に校内行事等入れないで研究時間を確保してほしい。春季・秋季研究集会は午後2時10分から、冬季教研集会は午後3時30分からの開催とした。

6 研究推進地区

甲州支会を研究推進地区とし、塩山南小学校を会場に各種教研活動が行われた。

7 教育講演会

8月7日(金) 山梨市民会館大ホール

講 師 山梨学院大学陸上競技部 監督 上田 誠仁 先生

演 題 「遙かなる夢に向かって」 ～限りなき挑戦～

Ⅲ 今後の課題

新学習指導要領への移行、また、不登校の問題など教育現場には様々な課題が山積している。このような中であって私たちは、互いの力量を高めるべく、研究・研修を組織し実践してきた。教育問題が多岐にわたる今日、私たちの研究体制・研究組織としてのとりくみが持つ意義を会員各自が再度自覚し、多様な教育的課題に対応できる広い視野を持つための組織研究がさらに充実、発展するよう努めていきたい。

〈東山梨教育協議会役員〉

役職名	氏 名
会 長	永田清一(塩山北小)
副会長	長谷川清(山梨北中) 中村裕司(玉宮小)
事務局	中村英彦(松里小) [研究推進委員長・事務局長] 久保田英樹(勝沼小) [事務局次長]
	永田清一(塩山北小) 沼田光義(笛川中) 上野欣也(後屋敷小) 宿澤齊(大藤小) 廣瀬芳樹(勝沼小)
	長谷川清(山梨北中) 今澤寛万呂(塩山南小) 川崎敏朗(勝沼中) 中村精志(山梨南中) 八巻 登(山梨小)
	中村裕司(玉宮小) 倉田憲一(塩山北中) 中村英彦(松里小) 那須丈彦(山梨南中) 久保田英樹(勝沼小)
会 計	那須丈彦(山梨南中)
会計監査	津金 猛(松里中) 鈴木 茂(日川小) 伊藤淳司(牧丘二小)